

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No1

|                              |  |                  |                     |           |              |
|------------------------------|--|------------------|---------------------|-----------|--------------|
| 事務事業名                        | 荒川区区政改革懇談会   | 部課名<br>担当者名      | 総務企画部総務企画課<br>雨宮・鈴木 | 課長名<br>内線 | 宮腰 肇<br>2115 |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度） | 区政改革懇談会（05 - 36 - 50 - 01）   |                  |                     |           |              |
| 事務事業の種類                      | 新規事業（19年度 18年度）  |                  | 建設事業                | それ以外の継続事業 |              |
| 開始年度                         | 昭和   | 平成               | 17年度                | 根拠<br>法令等 | 区政改革懇談会設置要綱  |
| 終期設定                         | 有  | 無                | 年度                  |           |              |
| 実施基準                         | 法令基準内 都基準内 区独自基準   |                  | 計画区分                | 計画        | 非計画          |
| 行政評価<br>事業体系                 | 分野   | 区政推進のために         |                     |           |              |
|                              | 政策   | 区民の主体的な区政参画と連携強化 |                     |           |              |
|                              | 施策   | 区民参画・協働の推進       |                     |           |              |
| 目的                           | 幅広く区民の意見を区政に反映し、区民の立場から施策を展開する。  |                  |                     |           |              |
| 対象者等                         | 区民（公募により委嘱した区政改革懇談会委員）   |                  |                     |           |              |
| 内容                           | <p>・平成17年度は、委員約70名（無報酬）を世代・ライフスタイル別に6グループに分け、月1回程度、荒川区の将来像について検討を行い、平成18年2月に区長に提言を行った。</p> <p>・平成18年度はグループを関係各部から再編成した4グループにより構成し、新たに各部担当者が会議進行役として参加し、各施策別の具体的な検討を行い、平成19年3月に活動・提言報告会を開催した。</p> <p>なお、総合調整は、総務企画課が行った。</p> <p>・平成19年度については、新たに募集した委員により懇談会の運営方法について議論し、決定したうえで実施する。</p>                                     |                  |                     |           |              |
| 経過                           | <p>平成16年度 実施検討</p> <p>平成17年 6月 委員公募</p> <p>平成17年 7月 委員選考・委嘱・第1回懇談会開催</p> <p>平成17年11月 中間発表会開催</p> <p>平成18年 2月 最終報告会開催（区長へ提言書提出）</p> <p>平成18年5月 18年度第1回懇談会（分科会）開催</p> <p>平成19年3月 活動・提言報告会開催</p>  |                  |                     |           |              |
| 必要性                          | <p>これまでの行政主体の施策を見直し、区民の視点から、区民の求める施策を検討し、実施する必要がある。そのために、幅広い区民の意見を討議する必要性は高い。</p> <p>また、区民との協働を推進し、区民の区政に関する意識の向上にも寄与することから必要性は高い。</p>   |                  |                     |           |              |
| 実施方法                         | <p>（ 直営 一部委託 全部委託 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）</p> <p>【18年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>懇談会委員を4つのグループに分け、施策分野毎に関係各課に設置する。</li> <li>各部の担当者は、コンサルタントの支援の下、懇談会を運営する。（17・18年度委託業者 ㈱日本能率協会総合研究所）</li> </ul> <p>【19年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たに募集した委員により懇談会の運営方法について議論し、決定したうえで実施する。</li> </ul> |                  |                     |           |              |

| 予算・決算額等の推移    | （単位：千円） |      |      |      |       |       |       |  |
|---------------|---------|------|------|------|-------|-------|-------|--|
|               | 13年度    | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度  | 18年度  | 19年度  |  |
| 予算額           |         |      |      |      | 2,930 | 3,336 | 5,395 |  |
| 決算額（19年度は見込み） |         |      |      |      | 242   | 3,267 |       |  |
| 人件費           |         |      |      |      | 9,309 | 6,661 |       |  |
| 【事務分担量】（%）    |         |      |      |      | 108   | 78    |       |  |
| 合計（+）         | 0       | 0    | 0    | 0    | 9,551 | 9,928 | 0     |  |
| 国（特定財源）       |         |      |      |      |       |       |       |  |
| 都（特定財源）       |         |      |      |      |       |       |       |  |
| その他（特定財源）     |         |      |      |      |       |       |       |  |
| 一般財源          | 0       | 0    | 0    | 0    | 9,551 | 9,928 | 0     |  |
| 事項名           | 13年度    | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度  | 18年度  | 19年度  |  |
| 懇談会開催数        |         |      |      |      | 45    | 29    |       |  |
| 実績の推移         |         |      |      |      |       |       |       |  |

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節  | 平成17年度（決算） |        | 平成18年度（決算） |        | 平成19年度（予算） |        |
|----------|-------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
|          |       | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） |
|          | 報償費   | 託児・選考委員    | 105    | 託児         | 0      | 託児         | 36     |
|          | 食糧費   | 賄い         | 104    | 賄い         | 234    | 賄い         | 156    |
|          | 一般需用費 | 消耗品費       | 0      | 消耗品費       | 0      | 消耗品費       | 90     |
|          | 役務費   | 筆耕翻訳料      | 0      | 郵送料        | 0      | 郵送料        | 96     |
|          | 委託料   | -          | -      | 運営支援委託等    | 3,010  | 運営支援委託等    | 5,000  |
|          | 使用料   | 会場使用料      | 33     | 会場使用料      | 23     | 会場使用料      | 17     |

| 指標 | 事務事業の成果とする指標名 | 指標の推移 |      |      |      |               | 指標に関する説明  |
|----|---------------|-------|------|------|------|---------------|---|
|    |               | 16年度  | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 目標値<br>(22年度) |   |
| 指標 | 委員の懇談会参加率     |       | 66%  | 46%  | 70%  | 80%           |   |
|    | 提言の項目数        |       | 6項目  | 5項目  |      | 20項目          | 17年度は、1グループにつき1提言、平成18年度は1テーマにつき1提言とカウントした。20年度以降の検討は、提案項目数をカウントする。（19年度は運営方法を議論するため、提言は行わない） |
|    | 委員の懇談会満足度     |       |      |      |      | 100%          | 委員に対してアンケートを実施し、数値を記載する。  |

|            |  |
|------------|--|
| （問題点・課題分析） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・18年度は分科会編成後にテーマを検討したため、テーマ設定までに期間を要した。また、各委員の検討したい項目にばらつきがあったため、どのように調整していくかが課題となった。</li> <li>・参加率を向上させる工夫が必要。（テーマの設定や懇談会開催の日程調整など）</li> <li>・多くの区民に区政への関心を高めてもらえるよう、内容について検討する必要がある。</li> <li>・19年度は委員の自主性を高めるため、運営方法を委員が議論する。</li> </ul> |
| 実施状況       | <p style="text-align: center;">（ 実施 区                      未実施 区 ）</p> <p>区政モニターではなく、区政について継続的に提言・提案を聴いていく会議体は他区にはない。</p>  |

| 問題点・課題の改善策検討                      |   |
|-----------------------------------|---|
| 平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容             | 改善により期待する効果   |
| 委員に対してアンケート調査を実施し、懇談会への満足度等を把握する。 | 委員の意見のうち、取り入れられるものを活動内容に反映させることで、さらに積極的な活動を促し、懇談会参加率の向上につなげることができる。 |
|                                   |   |
|                                   |   |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等    |
|---------|-------|------------------|
| 前年度設定   | 今年度設定 |                  |
| A       | A     | 引き続き現状の内容を維持していく |

|          |  |
|----------|--|
| 況議（要質旨問） | <p>H18年三定 団塊の世代及びシニア世代の区民が、行政との協働の担い手として活躍してもらうために区ができること</p> <p>H19年二定 区民参画について</p> |
|----------|--|

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No1

|                              |   |                      |          |                 |        |
|------------------------------|---|----------------------|----------|-----------------|--------|
| 事務事業名                        | 区功労者表彰  | 部課名                  | 総務企画部秘書課 | 課長名             | 高梨博和   |
|                              |   | 担当者名                 | 吉野豊喜     | 内線              | 2004   |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度） | 区功労者表彰（05-29-50-01）   |                      |          |                 |        |
| 事務事業の種類                      | 新規事業（19年度 18年度）   |                      | 建設事業     | それ以外の継続事業       |        |
| 開始年度                         | 昭和 平成   | 年度                   | 根拠       | 荒川区表彰規則 荒川区表彰要綱 |        |
| 終期設定                         | 有 無   | 年度                   | 法令等      |                 |        |
| 実施基準                         | 法令基準内   | 都基準内                 | 区独自基準    | 計画区分            | 計画 非計画 |
| 行政評価事業体系                     | 分野  | 計画推進のために[ ]          |          |                 |        |
|                              | 政策  | 区民の主体的な区政参画と連携強化[13] |          |                 |        |
|                              | 施策  | 区民参画・協働の推進[13-01]    |          |                 |        |
| 目的                           | 区の振興・発展に特に功労があった者の実績をたたえることにより、区民の福祉の増進に資することを目的とする。（荒川区表彰規則第1条）<br>区の振興・発展に特に功労があった者に対して、その功績をたたえ、区民の「ふるさと意識」を高めようとするもの  |                      |          |                 |        |
| 対象者等                         | 顕著な功績または模範として、推奨するにふさわしい業績もしくは善行のあった者<br>（平成15年度）138名（平成16年度）140名（平成17年度）172名（平成18年度）160名<br>（平成19年度）161名[予算]   |                      |          |                 |        |
| 内容                           | 1 区功労実施内容<br>(1)日 時 平成18年11月14日 午前11時～（平成17年度は11月15日に実施）<br>(2)場 所 ホテルラングウッド 2階 ラングウッドルーム 式典・祝宴<br>(3)招待者 特別来賓者 区議会正副議長・衆議院議員・都議会議員・区内官公署長<br>一般来賓者 推薦者・区議会議員・行政委員・地元新聞社<br>(4)表彰式 表彰状及び記念品の授与（荒川区民交響楽団等による演奏あり）<br>記念品 鍛金茶器セット（一般、活動）、鍛金花瓶（特別功労）<br>2 議員表彰実施内容<br>(1)日 時 表彰基準を充たした時期<br>(2)場 所 その都度検討<br>(3)招待者 区議会議員・行政委員代表<br>(4)表彰式 表彰状及び記念品の授与 記念品 H15 特別・一般（木曾塗り御椀）                                       |                      |          |                 |        |
| 経過                           | 昭和60年度 表彰規則・要綱の一部改正（被表彰対象者の拡大）<br>平成3年度 表彰規則・要綱の一部改正（区議会議員表彰基準の改正尾より特別功労者表彰の実施）<br>平成6年度 表彰規則の一部改正（要綱の廃止、制定 分野別表彰実施）<br>平成9年度 会場をサンパールからセレス西日暮里に変更<br>平成10年度 在職期間の計算基準日から、平成11年度に実施予定であった区議会議員表彰を平成10年度に行う。<br>平成12年度 表彰規則・要綱の一部改正（題名及び組織改正による表彰区分の改正）<br>平成14年度 表彰規則・要綱の一部改正（特別賞の新設及び組織改正による事務局名の改正）<br>平成17年度 表彰規則・要綱の一部改正（活動賞の新設及び組織改正による事務局名の改正）<br>平成18年度 会場をセレス西日暮里からホテルラングウッドへ変更（セレス西日暮里がメモリアルホールとなったため） |                      |          |                 |        |
| 必要性                          | 区の振興・発展に特に功労があった者の実績をたたえ、区民の福祉を増進するため必要である。   |                      |          |                 |        |
| 実施方法                         | （ 直営 一部委託 全部委託 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）  |                      |          |                 |        |

| 予算・決算額等の推移    | （単位：千円）  |          |           |          |           |          |       |  |
|---------------|----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|-------|--|
|               | 13年度     | 14年度     | 15年度      | 16年度     | 17年度      | 18年度     | 19年度  |  |
| 予算額           | 4,367    | 4,530    | 5,499     | 4,754    | 8,362     | 5,336    | 5,970 |  |
| 決算額（19年度は見込み） | 3,910    | 4,503    | 5,498     | 4,309    | 5,980     | 5,031    |       |  |
| 人件費           |          |          |           |          | 690       | 854      |       |  |
| 【事務分担量】（%）    |          |          |           |          | 8         | 10       |       |  |
| 合計（+）         | 3,910    | 4,503    | 5,498     | 4,309    | 6,670     | 5,885    | 0     |  |
| 国（特定財源）       |          |          |           |          |           |          |       |  |
| 都（特定財源）       |          |          |           |          |           |          |       |  |
| その他（特定財源）     |          |          |           |          |           |          |       |  |
| 一般財源          | 3,910    | 4,503    | 5,498     | 4,309    | 6,670     | 5,885    | 0     |  |
| 実績の推移         | 事項名      |          |           |          |           |          |       |  |
|               | 13年度     | 14年度     | 15年度      | 16年度     | 17年度      | 18年度     | 19年度  |  |
| 特別            | 4 2 2 33 | 5 3 1 58 | 5 1 3 42  | 4 4 0 43 | 4 12 5 67 | 4 3 0 48 |       |  |
| 学校            | 3 9 9 0  | 9 2 18 0 | 11 7 14 0 | 6 8 12 0 | 3 4 13 0  | 5 9 21 1 |       |  |
| 文化            | 17 4 4 4 | 8 2 6 6  | 10 7 4 3  | 9 10 8 4 | 12 4 6 4  | 13 6 5 3 |       |  |
| 善行            | 0 18 2 - | 1 14 2 - | 1 30 0 -  | 0 31 1 - | 1 31 1 5  | 3 34 1 4 |       |  |

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節  | 平成17年度（決算） |        | 平成18年度（決算） |        | 平成19年度（予算） |        |
|----------|-------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
|          |       | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） |
|          | 報償費   | 弦楽四重奏者謝礼   | 40     | 式典出演料一式    | 44     | 式典出演料一式    | 44     |
|          | 食糧費   | 表彰式賄い      | 12     | 表彰式賄い      | 4      |            |        |
|          | 需用費   | 記念品        | 3,273  | 記念品        | 3,384  | 記念品        | 3,928  |
|          |       | 記念バッチ      | 1,043  | 記念バッチ      | 0      | 記念バッチ      | 180    |
|          | 印刷製本費 | 案内状等印刷     | 138    | 案内状等印刷     | 119    | 案内状等印刷     | 137    |
|          | 役務費   | 表彰状等筆耕     | 106    | 表彰状等筆耕     | 130    | 表彰状等筆耕     | 319    |
|          | 委託料   | 会場設営委託     | 1,320  | 会場設営委託     | 1,319  | 会場設営委託     | 1,362  |

| 指標 | 事務事業の成果とする指標名 | 指標の推移 |      |      |      |               | 指標に関する説明    |
|----|---------------|-------|------|------|------|---------------|-------------|
|    |               | 16年度  | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 目標値<br>(22年度) |             |
| 標  | 区功労推薦者数       | 162   | 182  | 170  | 170  | 170           | 前年度実績を指標とする |
|    | 区功労受賞者数       | 140   | 172  | 160  | 160  | 160           | 前年度実績を指標とする |
|    |               |       |      |      |      |               |             |

|          |                   |
|----------|-------------------|
| （問題点・課題） |                   |
| 他区の実況    | （実施 22 区 未実施 0 区） |

| 問題点・課題の改善策検討  |   |
|---|---|
| 平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容   | 改善により期待する効果   |
| 在職年数や年齢制限を設けず、推薦は各所管が行なう「活動賞」を平成17年度に新設したので、各所管へ制度の周知を引き続き図る。 | 区への功績が多大であるが団体に属していない個人や一般功労に該当していなかった方々を推薦・表彰することで、より一層、区民福祉の増進に資することが期待できる。 |
|   |   |
|   |   |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等   |
|---------|-------|---|
| 前年度設定   | 今年度設定 |   |
| B       | B     | 昭和53年から永年にわたって続けてきた制度であり、地域に広く定着しており、地域貢献等をなされている方々を表彰することにより、区として感謝と敬意を表するものである。また、区民の方々の自主的な地域活動等を進めるきっかけづくりとしても、続けることが必要である。 |

|        |  |
|--------|--|
| 況議（要旨） |  |
|--------|--|

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No1

|                              |   |                      |          |           |      |
|------------------------------|---|----------------------|----------|-----------|------|
| 事務事業名                        | 新年祝賀会   | 部課名                  | 総務企画部秘書課 | 課長名       | 高梨博和 |
|                              |   | 担当者名                 | 茶谷勇      | 内線        | 2004 |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度） | 新年祝賀会（02-35-32-01）  |                      |          |           |      |
| 事務事業の種類                      | 新規事業（19年度 18年度）   |                      | 建設事業     | それ以外の継続事業 |      |
| 開始年度                         | 昭和 平成   | 不明 年度                | 根拠       |           |      |
| 終期設定                         | 有 無   | 年度                   | 法令等      |           |      |
| 実施基準                         | 法令基準内 都基準内 区独自基準  |                      | 計画区分     | 計画        | 非計画  |
| 行政評価事業体系                     | 分野  | 計画推進のために[ ]          |          |           |      |
|                              | 政策  | 区民の主体的な区政参画と連携強化[13] |          |           |      |
|                              | 施策  | 区民参画・協働の推進[13-01]    |          |           |      |
| 目的                           | 年頭にあたり、日頃、荒川区の発展に寄与している各界・各層の代表者を招待し、区政への理解・協力を得ることを目的として開催する。  |                      |          |           |      |
| 対象者等                         | 荒川区の発展に寄与している各界の代表者<br>平成16年度 招待者数 約1,538人 来場者数 約600人<br>平成17年度 招待者数 約1,624人 来場者数 約650人<br>平成18年度 招待者数 約1,638人 来場者数 約660人   |                      |          |           |      |
| 内容                           | (1)日時<br>毎年1月4日 11時～<br>(2)場所<br>ホテルラングウッド（ラングウッドルーム）<br>(3)招待者<br>国・都・区議会議員、区内官公署長、行政委員、町会長、民生委員、保護司、その他の公共団体の長、区民栄誉賞受賞者、叙勲受章者、荒川区ゆかりの文化・スポーツ・芸能人等   |                      |          |           |      |
| 経過                           | 区の発展に寄与していただいている各界の代表者を招待して実施している新年祝賀会への招待者数は、約1,600名（出席者は年500～600名程度）で、新年祝賀会の現状からすると区内で対応できる会場は、ホテルラングウッドしかないことから、平成3年度から祝宴会場をサンパール荒川からホテルラングウッドに変更し、開催している。<br>平成17年から式典の開会に先立ち東京荒川少年少女合唱隊による合唱を、招待者からの祝辞の後に荒川区民交響楽団の弦楽四重奏を行うこととし、各界の代表が一堂に会する少ない機会を活かし、区民の文化活動をアピールする場を提供するという、従来の賀詞交換に加え新たな試みを実施した。 |                      |          |           |      |
| 必要性                          | 荒川区の発展に寄与している各界・各層の代表者の区政への理解・協力を得るために必要である。  |                      |          |           |      |
| 実施方法                         | （ 直営 一部委託 全部委託 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）<br>ホテルラングウッドに会場設営等一式を委託  |                      |          |           |      |

| 予算・決算額等の推移    | （単位：千円） |       |       |       |       |       |       |      |
|---------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
|               | 13年度    | 14年度  | 15年度  | 16年度  | 17年度  | 18年度  | 19年度  |      |
| 予算額           | 3,011   | 3,011 | 3,017 | 3,141 | 2,936 | 3,260 | 3,104 |      |
| 決算額（19年度は見込み） | 2,985   | 2,983 | 2,990 | 3,101 | 2,894 | 2,897 |       |      |
| 人件費           |         |       |       |       | 431   | 427   |       |      |
| 【事務分担量】（%）    |         |       |       |       | 5     | 5     |       |      |
| 合計（+）         | 2,985   | 2,983 | 2,990 | 3,101 | 3,325 | 3,324 | 0     |      |
| 国（特定財源）       |         |       |       |       |       |       |       |      |
| 都（特定財源）       |         |       |       |       |       |       |       |      |
| その他（特定財源）     |         |       |       |       |       |       |       |      |
| 一般財源          | 2,985   | 2,983 | 2,990 | 3,101 | 3,325 | 3,324 | 0     |      |
| 実績の推移         | 事項名     | 13年度  | 14年度  | 15年度  | 16年度  | 17年度  | 18年度  | 19年度 |
|               | 来場者数    | 980   | 600   | 630   | 600   | 650   | 660   |      |
|               |         |       |       |       |       |       |       |      |
|               |         |       |       |       |       |       |       |      |

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節  | 平成17年度（決算） |        | 平成18年度（決算） |        | 平成19年度（予算） |        |
|----------|-------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
|          |       | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） |
|          | 報償費   | 手話通訳・出演者謝礼 | 76     | 手話通訳・出演者謝礼 | 80     | 手話通訳・出演者謝礼 | 150    |
|          | 食糧費   |            | 0      |            | 0      |            | 0      |
|          | 一般需用費 | 新年祝賀会案内状   | 36     | 新年祝賀会案内状   | 36     | 新年祝賀会案内状   | 63     |
|          | 委託料   | 祝賀会会場設営委託  | 2,782  | 祝賀会会場設営委託  | 2,781  | 祝賀会会場設営委託  | 2,891  |
|          |       |            |        |            |        |            |        |
|          |       |            |        |            |        |            |        |

| 指標 | 事務事業の成果とする指標名 | 指標の推移 |      |      |      |               | 指標に関する説明 |
|----|---------------|-------|------|------|------|---------------|----------|
|    |               | 16年度  | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 目標値<br>(22年度) |          |
|    | 出席率           | 39%   | 40%  | 40%  | 40%  | 40%           |          |
|    |               |       |      |      |      |               |          |
|    |               |       |      |      |      |               |          |

|            |   |
|------------|---|
| （問題点・課題分析） |   |
| 他区の実況      | （実施 22 区 未実施 区）<br>会費制実施（江東区・板橋区・足立区・新宿区・練馬区・豊島区） |

| 問題点・課題の改善策検討          |             |
|-----------------------|-------------|
|                       |             |
| 平成20年度以降に取り組み具体的な改善内容 | 改善により期待する効果 |
|                       |             |
|                       |             |
|                       |             |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等                                     |
|---------|-------|---|
| 前年度設定   | 今年度設定 |   |
| B       | B     | 荒川区の発展に寄与していただいている各界・各層の代表者の区政への理解・協力を得るために必要である。 |

|          |  |
|----------|--|
| 議会議況（要旨） |  |
|----------|--|

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No1

|                              |  |                      |                     |           |              |
|------------------------------|--|----------------------|---------------------|-----------|--------------|
| 事務事業名                        | ヒューマンリソース(人的資源活用)の推進   | 部課名<br>担当者名          | 総務企画部総務企画課<br>谷井・内田 | 課長名<br>内線 | 宮腰 肇<br>2113 |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(19年度) | 荒川ヒューマンリソース(05-11-60-01)   |                      |                     |           |              |
| 事務事業の種類                      | 新規事業 (19年度 18年度)   |                      | 建設事業                | それ以外の継続事業 |              |
| 開始年度                         | 昭和 平成  | 18 年度                | 根拠                  |           |              |
| 終期設定                         | 有 無  | 年度                   | 法令等                 |           |              |
| 実施基準                         | 法令基準内  | 都基準内                 | 区独自基準               | 計画区分      | 計画 非計画       |
| 行政評価事業体系                     | 分野   | 計画推進のために[ ]          |                     |           |              |
|                              | 政策   | 区民の主体的な区政参画と連携強化[13] |                     |           |              |
|                              | 施策   | 区民参画・協働の推進[13-01]    |                     |           |              |
| 目的                           | 2007年問題に対応するため、各関係機関との連携を図り、団塊の世代をはじめとした人的資源を生かせる仕組みをつくることにより、区内企業の支援や地域活動の活性化を図る。   |                      |                     |           |              |
| 対象者等                         | 定年退職後、引き続き就労意欲のある区民など  |                      |                     |           |              |
| 内容                           | <p>【各機関の事業内容等調査・研究】(H18年度終了)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワーク足立、東京人材財団等視察</li> <li>・愛知県高浜市視察(人材派遣等についての先進自治体への調査・研究)</li> <li>・労働派遣法等関係法令の調査・研究</li> <li>・「団塊の世代の今後の就業や社会参加に関するアンケート調査」実施(H19年1月)</li> </ul> <p>区内在住無作為抽出、1,000サンプルを調査。</p> <p>【地域活動支援対策事業】(H19年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在社会福祉協議会内にあるボランティアセンターの機能拡充</li> </ul> <p>【再就職支援対策事業】(H19年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荒川区シルバー人材センターと連携し、フルタイムの人材派遣事業等の検討を含め、区内での就労を支援。</li> </ul> |                      |                     |           |              |
| 経過                           | <p>平成17年度～ 検討</p> <p>平成18年度～ ハローワーク足立、東京しごと財団等関係機関調査<br/>「団塊の世代の今後の就業等に関するアンケート調査」実施</p>   |                      |                     |           |              |
| 必要性                          | 人的資源価値を持つ団塊の世代の活躍の場について、仕組みをつくることにより、団塊の世代本人の自己実現や地域の活性化に繋がることから、その必要性は高い。   |                      |                     |           |              |
| 実施方法                         | ( 直営 一部委託 全部委託 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 )   |                      |                     |           |              |
|                              | <p>・団塊の世代への支援事業補助金交付要綱の制定(H19年度)</p> <p>要綱の制定により補助対象事業へ補助金を交付(H19年度予算額 16,500千円)</p>   |                      |                     |           |              |

|            |               | (単位：千円) |      |      |      |       |        |        |
|------------|---------------|---------|------|------|------|-------|--------|--------|
|            |               | 13年度    | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度  | 18年度   | 19年度   |
| 予算・決算額等の推移 | 予算額           | -       | -    | -    | -    | -     | 2,043  | 17,291 |
|            | 決算額(19年度は見込み) | -       | -    | -    | -    | -     | 1,512  | 17,291 |
|            | 人件費           |         |      |      |      |       | 6,661  |        |
|            | 【事務分担量】(%)    |         |      |      |      |       | 78     |        |
|            | 合計(+)         | 0       | 0    | 0    | 0    | 0     | 8,173  | 17,291 |
|            | 国(特定財源)       |         |      |      |      |       |        |        |
| 都(特定財源)    |               |         |      |      |      |       |        |        |
| その他(特定財源)  |               |         |      |      |      |       |        |        |
| 一般財源       | 0             | 0       | 0    | 0    | 0    | 8,173 | 17,291 |        |
| 実績の推移      | 事項名           | 13年度    | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度  | 18年度   | 19年度   |
|            |               |         |      |      |      |       |        |        |

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節     | 平成17年度（決算） |        | 平成18年度（決算） |        | 平成19年度（予算） |        |
|----------|----------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
|          |          | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） |
|          | 報償費      |            | 0      | 設立準備委員謝礼   | 52     | 講師謝礼       | 180    |
|          | 委託費      |            | 0      | 調査委託費      | 1,460  |            | 0      |
|          | 一般需要費    |            | 0      |            | 0      | 講演会経費      | 135    |
|          | 役務費      |            | 0      |            | 0      | 講演会看板作成    | 150    |
|          | 使用料及び賃借料 |            | 0      |            | 0      | 講演会会場使用料   | 347    |
|          | 負担金及び交付金 |            | 0      |            | 0      | 団塊世代対策支援補助 | 16,478 |

| 指標 | 事務事業の成果とする指標名 | 指標の推移 |      |      |      |               | 指標に関する説明           |
|----|---------------|-------|------|------|------|---------------|--------------------|
|    |               | 16年度  | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 目標値<br>(22年度) |                    |
| 標  | 就労紹介実績        | -     | -    | -    | -    | -             | シルバー人材センター紹介実績に基づく |
|    | ボランティア紹介実績    | -     | -    | -    | -    | -             | ボランティアセンター紹介実績に基づく |

**（問題点・課題）**  
 団塊の世代を今後どのように活用するか、区としてどのような事業を展開するべきかを見極める必要がある。  
 既に事業を展開しているハローワーク足立等の関係機関との連携が必要である。  
 区内各施設（シルバー人材センター、JOBコーナー町屋等）の連携を強化し、社会参加の幅広いニーズに対応する仕組みが必要である。

|                |   |
|----------------|---|
| <b>他区の実施状況</b> | （ 実施 13 区                      未実施 9 区 ）  |
|                | 港区 「団塊の世代等意識調査」、「チャレンジコミュニティ大学」<br>足立区 「団塊の世代の地域回帰推進事業」<br>杉並区 「すぎなみ地域大学」「すぎなみ学倶楽部」<br>北区 「シニア元気塾」「どん！MY起業(シニア対象)」など<br>葛飾区 各種ボランティア講座、「シニア活動支援センター」開設<br>新宿区 「生涯現役塾」<br>文京区 「団塊世代お帰りのさいパーティー」<br>台東区 「高齢年齢者再就職総合セミナー～団塊の世代を中心として～」<br>品川区 「しながわシニアネット」「サポしながわ」<br>世田谷区 「生涯現役プロジェクト」<br>豊島区 「団塊プロジェクト」<br>板橋区 「団塊の世代に関するセミナー」<br>練馬区 「(仮称)地域福祉パワーアップカレッジ」 |

| 問題点・課題の改善策検討           |  |
|------------------------|--|
| 平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容  | 改善により期待する効果  |
| 各関係機関との調査・意見交換及び連絡会の設置 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関による既存事業との重複を防ぐ</li> <li>・雇用状況などの情報の共有化を図ることができる</li> </ul> |
|                        |  |
|                        |  |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等 |
|---------|-------|---------------|
| 前年度設定   | 今年度設定 |               |
| C       | B     | 施策の具体化を進める。   |

**況議（要質問旨）**  
 H17・三定：団塊世代の地域活動の支援として、市民活動基金の創設を  
 H18・四定：団塊の世代の受け皿づくりと区の役割について



# 事務事業分析シート（平成19年度）

No1

|                                  |   |                      |                     |           |              |
|----------------------------------|---|----------------------|---------------------|-----------|--------------|
| 事務事業名                            | 区制施行75周年記念事業  | 部課名<br>担当者名          | 総務企画部総務企画課<br>小室・富田 | 課長名<br>内線 | 北川嘉昭<br>2211 |
| 事務事業を構成する小事業名<br>及び予算事業コード（19年度） |   |                      |                     |           |              |
| 事務事業の種類                          | 新規事業（19年度 18年度）   |                      | 建設事業                | それ以外の継続事業 |              |
| 開始年度                             | 昭和 平成   | 19 年度                | 根拠                  |           |              |
| 終期設定                             | 有 無   | 年度                   | 法令等                 |           |              |
| 実施基準                             | 法令基準内   | 都基準内                 | 区独自基準               | 計画区分      | 計画 非計画       |
| 行政評価<br>事業体系                     | 分野  | 計画推進のために[ ]          |                     |           |              |
|                                  | 政策  | 区民の主体的な区政参画と連携強化[13] |                     |           |              |
|                                  | 施策  | 区民参画・協働の推進[13-01]    |                     |           |              |
| 目的                               | 平成19年は、区制施行75周年の節目を迎える年であり、また、3月には、議会の議決を経て、「幸福実感都市あらかわ」を将来像として掲げた基本構想を策定し、区が新たなスタートをきった年である。これを契機とし、記念事業を通して、区政への関心を高め、区民の主体的なまちづくりへの参画を促進するとともに、わがまちあらかわへの愛着心を育み、区民相互の連携を醸成する。また、区の情報幅広く内外へ発信し、地域に対する誇りと愛情を深めるとともに、積極的に区存在感をアピールし、イメージアップを図る。   |                      |                     |           |              |
| 対象者等                             | 区民等   |                      |                     |           |              |
| 内容                               | <p>【川の手荒川まつりにおける交響詩「荒川・隅田川」の演奏】<br/>19年度当初のイベントであり、区最大の行事である川の手荒川まつりにおいて、交響詩「荒川・隅田川」を演奏し、75周年記念事業についての区民の機運を高める。</p> <p>【ファンファーレの制作】<br/>区の象徴の一つとして、「幸福実感都市あらかわ」をイメージしたオリジナルの楽曲を制作し、区の式典等において活用する。</p> <p>【記念モニュメントの設置】<br/>地域の芸術・文化発信のシンボルを区役所庁舎に創設し、区民が優れた芸術作品にふれる機会を拡充し、文化の薫り高いまちづくりに寄与する。</p> <p>【シンボルマークの制定】<br/>新たに区のイメージを表したシンボルマークを制定し、広く区外へ発信する。</p> <p>【記念式典の開催】<br/>これまでの歩みを振り返るとともに、区への愛着心を深めるための式典を10月8日に開催する。</p> |                      |                     |           |              |
| 経過                               | 昭和27年 20周年記念事業（記念式典）<br>昭和32年 25周年記念事業（記念式典）<br>昭和37年 30周年記念事業（記念式典、感謝状贈呈式、職員表彰式、記念のつどい）<br>昭和57年 50周年記念事業（記念式典、記念祭、記念出版物等）<br>平成4年 60周年記念事業（コンサート、神津島ふれあい航路）<br>平成14年 70周年記念事業（感謝状贈呈式）   |                      |                     |           |              |
| 必要性                              | 区の発展は区民とともにあるものであり、こういった年月の節目をきっかけとしてとらえ、記念行事を行うことを通じて、区を支えてこられた方へ感謝の意を表すとともに、区への関心を高め、愛着心を育む機会とする。   |                      |                     |           |              |
| 実施方法                             | （ 直営 一部委託 全部委託 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）  |                      |                     |           |              |

| 予算・決算額等の推移    | （単位：千円） |      |      |      |      |      |        |      |
|---------------|---------|------|------|------|------|------|--------|------|
|               | 13年度    | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度   |      |
| 予算額           |         |      |      |      |      |      | 20,000 |      |
| 決算額（19年度は見込み） |         |      |      |      |      |      |        |      |
| 人件費           |         |      |      |      |      |      |        |      |
| 【事務分担量】（%）    |         |      |      |      |      |      |        |      |
| 合計（+）         | 0       | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0      |      |
| 国（特定財源）       |         |      |      |      |      |      |        |      |
| 都（特定財源）       |         |      |      |      |      |      |        |      |
| その他（特定財源）     |         |      |      |      |      |      |        |      |
| 一般財源          | 0       | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0      |      |
| 実績の推移         | 事項名     | 13年度 | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度 | 18年度   | 19年度 |
|               |         |      |      |      |      |      |        |      |
|               |         |      |      |      |      |      |        |      |
|               |         |      |      |      |      |      |        |      |

# 事務事業分析シート（平成19年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節 | 平成17年度（決算） |        | 平成18年度（決算） |        | 平成19年度（予算） |        |
|----------|------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
|          |      | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） |
|          |      |            |        |            |        |            |        |
|          |      |            |        |            |        |            |        |
|          |      |            |        |            |        |            |        |
|          |      |            |        |            |        |            |        |
|          |      |            |        |            |        |            |        |

| 指標 | 事務事業の成果とする指標名        | 指標の推移 |      |      |      |               | 指標に関する説明 |
|----|----------------------|-------|------|------|------|---------------|----------|
|    |                      | 16年度  | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 目標値<br>(22年度) |          |
| 標  | シンボルマークの使用回数         |       |      |      |      |               |          |
|    | ファンファーレを区の行事等で使用した回数 |       |      |      |      |               |          |
|    |                      |       |      |      |      |               |          |

|            |   |
|------------|---|
| （問題点・課題分析） | <p>各部におけるシンボルマークの統一的使用（大きさ・ロゴ配置）<br/>ファンファーレを広く普及するため、活用方法を具体的に検討する必要がある。</p> |
| 他区の実況      | （ 実施                      区                      未実施                      区 ） |

| 問題点・課題の改善策検討 |                                   |  |
|--------------|-----------------------------------|--|
|              | 平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容             | 改善により期待する効果                            |
|              | シンボルマーク使用手引の作成、庁内及び区内外への周知        | 各所において統一的、効果的に使用される。                   |
|              | 区内の小中学生がファンファーレを演奏できるように楽曲の編曲を行う。 | 小さいころから慣れ親しむことで、ファンファーレを通して荒川区に愛着心を持つ。 |
|              |                                   |  |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等                           |
|---------|-------|---|
| 前年度設定   | 今年度設定 |   |
|         | B     | 75年という節目を、これまでの歩みを振り返り区への関心を高めるきっかけとする。 |

|          |  |
|----------|--|
| 議会議況（要旨） |  |
|----------|--|